

# カンボジア国女性の経済的エンパワメントのための ジェンダー主流化プロジェクト

ニュースレター第2号（2018年6月）

## スケールアップ/パイロットプロジェクト 本格始動へ向けて

2017年3月の活動開始から、あっという間に1年以上がたちました。この間、首都プノンペンのほか、先行プロジェクトからの対象州のコンポンチャム州、本プロジェクトでジェンダー視点に立った事業を新たに展開する4州のうち、シムリアップ州とコンポンチュナン州で活動を開始しました。

コンポンチャム州では、2017年6月から7月にかけて実施したレビュー調査の結果を受け、2017年10月から2018年1月にかけて鶏舎、ワクチン、ビジネスプランに関する補足研修を実施しました。先行プロジェクトのPGM2の時から養鶏を続けている農家にとっても、これらは実行が難しく、ワクチン接種方法も不正確であったりするため、適正な技術を改めて指導しました。

また、コンポンチャム州の女性副知事を長とするWEE（女性の経済的エンパワメント）ワーキンググループを設立しました。副知事以下、女性と子ども委員会委員長、女性局、農林水産局、商業局、農村開発局、工業手工芸局、労働職業訓練局、計画局の局長または副局長と技術スタッフからなるグループで、コンポンチャム州の行政レベルでWEE支援をします。

これまで、このワーキンググループは技術的およびジェンダー視点から養鶏農家のモニタリングを実施し、モニタリング結果の議論から、

行政に何ができるか、何を改善すべきかを協議してきました。今後は、州局間の情報交換・協力により、養鶏に限らず様々な側面からWEEを支援する活動が継続できるよう、コンポンチャム州予算を確保する手続きにも取り掛かっています。



ジェンダー視点に立ったバリューチェーン分析  
（コンポンチュナン州、2018年4月）

これらの経験をもとに、コンポンチュナン州での養鶏スケールアップ事業の準備も着々と進みました。PGM手法（次ページ参照）による政策分析に始まり、農村女性が直面する課題の分析を通して、現状の理解を深め、取り組むべき課題を抽出しました。3月には対象村選択のための調査を実施、選定クライテリアに基づき4村を選定しました。コンポンチャム州局職員の協力を得て詳細な活動計画も策定、2018年7月末のカンボジア総選挙後の9月に養鶏研修を開始します。

## ジェンダー統計

「ジェンダー統計」は、「男女間の意識による偏り、あらゆる社会の側面で男性・女性の異なる状況を把握するために有用な統計で、男女別の統計が代表的なものです。事業の成果が多くの人に平等に享受されているかどうか、どこに課題があるか、性別や年代などごとにデータを取らなければ見えてこないことがたくさんあります。

本プロジェクトでも、女性省と協力してジェンダー統計を国レベルと州レベルでまとめます。国レベルのジェンダー統計は、リーフレットにまとめて、今年の国際女性の日に配布しました。州レベルでは、プロジェクトサイトの4州のジェンダー統計の冊子を作成します。プロジェクトが実施する女性の経済活動支援事業がコミュニティの女性のエンパワメントにつながるよう、女性たちが抱える課題や現状を把握することが必要です。また、サブナショナルレベルの様々な関係者に、ジェンダー視点に立つことの必要性を理解してもらうための啓発ツールとしても重要です。

今年後半から、各州女性局が中心となり、女性省の支援もうけながら、州の各局と協力してジェンダー統計ブックレットを順次作成していく予定です。



ジェンダー統計リーフレット

アンコールワットで有名なシェムリアップ州では、観光分野のパイロットプロジェクトを実施します。観光は、カンボジアの国家政策の中でも経済発展のけん引役として重視されています。

観光分野で女性はサービス、食品や手工芸品の生産など様々な経済活動に従事しています。そのうちどのような活動を支援するのが効果的であるか、また、上記の7局に観光局を加えた8局がどのように関与できるか、など考慮した結果、コミュニティ・ツーリズムを取り上げるこ

とになりました。今年の総選挙後、シェムリアップ州に複数あるコミュニティ・ツーリズムのサイトから対象を選定し、詳細な計画策定を始める予定です。



ジンジャースナック生産グループを訪問



コミュニティツーリズムサイトを訪問

## 合同調整委員会（JCC）開催

2018年6月5日、第2回合同調整委員会（JCC）を開催しました。これはプロジェクト全体の進捗を確認し計画を承認する、プロジェクトの重要な決定をする会議で、女性省大臣自らが議長として議論をリードされます。女性省のほか、8つの省（観光省、計画省、工業手工芸省、商業省、農業省、農村開発省、労働職業訓練省、経済財政省）、コンポンチャム州、コンポンチュナン州、シェムリアップ州の代

表（女性副知事、女性と子ども委員会委員長、女性局長）が女性省に集まりました。日本側は、JICA本部の京職員と山口国際協力専門員、JICAカンボジア事務所の田中次長と林企画調査員が参加しました。

JCCでは、プロジェクトダイレクターのチャン・ソレイ次官がプロジェクト活動の進捗を、プロジェクトマネージャーのリム計画統計局長がプロジェクト2年目の活動計画について発表をしました。各省からのコ

メントや意見交換の後、次年の活動計画をJCCとして承認し、会議を終了しました。



第2回JCC（2018年6月）

## PGM手法：ジェンダー視点に立った政策策定支援ツール

当プロジェクトの先行二案件、ジェンダー政策立案支援計画プロジェクト（PGM1）が開発し、ジェンダー主流化プロジェクト第2フェーズ（PGM2）が改訂・強化したPGM手法は、ジェンダー視点に立って、政策分析、事業計画のための現状分析（関係者分析、問題分析、目的分析）、計画、事業実施、モニタリング、評価のサイクルを回すものです。プロジェクト・サイクル・マネジメント手法にジェンダー視点を取り入れたもので、このサイクルを回すことでジェンダー主流化を促進します。PGM2終了後、女性省は独自予算を獲得して、カンボジア全国でPGM手法の研修を実施してきました。当プロジェクトも、ターゲット州・パイロット州であるコンポンチュナン州とシェムリアップ州でPGM手法ワークショップを開催しました。

後記：このほか、JICA ホームページ (<https://www.jica.go.jp/project/cambodia/023/index.html>) でも随時プロジェクトニュースで活動をご紹介します。JICA カンボジア事務所の Facebook (<https://www.facebook.com/JICACambodia/>) も是非ご覧ください！次号は2018年11月ごろお届けの予定です。

カンボジア国女性の経済的エンパワーメントのためのジェンダー主流化プロジェクト  
ニュースレター第2号（2018年6月）

（本通信はプロジェクト専門家がプロジェクト進捗をお知らせするもので、JICA及びプロジェクトのカウンターパートの見解を示すものではありません。禁無断転載。）  
Ministry of Women's Affairs  
Trung Morn Street, Phum Dam Nak Thom III, Steung Meanchey, Phnom Penh